

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を



第2780第8G平塚北ロータリークラブ週報



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会 長：山田 裕

例会日：毎週火曜日 12：30～13：30

会長エレクト：中村 豊 副会長：中村 豊

例会場：レストラン大原

幹 事：神保 由樹 会場監督：苅谷 政夫

事務所：平塚市立野町17-2

姉妹クラブ：台湾桃園ロータリークラブ

連絡先：Tel.0463-30-6336 Fax.0463-30-6616

E-mail:desk@hiratsukakita-rc.jp

【週 報 第2637回】

【2025年 11月 11日】

例 会 報 告

合 唱：「君が代」「奉仕の理想」

司会：幹事 神保由樹さん

ゲ ス ト：富岡 弘文委員長 財団資金推進・ポリオ委員会（大和RC）

誕 生 祝 い：ごさいません。

第2636回 例会

2025年11月11日

会長報告

平塚北ロータリークラブ

会 長 山田 裕

皆さま、本日も例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また本日は、財団推進・ポリオ委員会富岡委員長、当クラブへようこそ、後の卓話を宜しくお願い致します。

さて久しぶりの例会での挨拶になりますが、11月も半ばを迎え、街並みもすっかりと秋色に染まりました。まさに「実りの秋」「文化の秋」ですが、当クラブにおいても、この秋は非常に多くの「実り」と「感動」を得る季節となりました。10月末から今月初めにかけての、印象深かった3つの活動についてご報告と、皆様への感謝を申し上げたいと存じます。

先ず10月25日の「きらり祭」への協力についてです。当日はあいにくの雨天となり室内体育館がメイン会場となりました。当クラブは子ども達にシーツアートを作成していただくため大きなシーツと色材を提供させていただきました。子ども達は4枚のシーツに、「き・ら・り・祭」という文字を「乳児院」「福祉型障害児入所施設」「児童心理治療施設」そして「きらり祭実行委員会」と一文字ずつ割り当て、思い思いの絵を描いて

くれました。それぞれ個性あふれる素晴らしい作品でした。実にのびのびと、豊かな発想力で描かれた作品は、文字ごとに全く違う世界が広がっており、驚かされるほどの見事な出来栄でした。

またオープニングの「相州平塚七夕太鼓」は「組曲七夕」「天の川」「七夕まつり」などのとても聞きごたえのある曲を演奏されました。何よりも太鼓と一緒に叩きたい子どもを募った際に、子ども達、皆が手を挙げて参加したこと。そして太鼓をたたき我が子を一生懸命撮影する親の姿が大変嬉しそうだったのが印象的でした。

子ども達の純粋なエネルギーと創造力にささやかながら貢献できたことを、大変嬉しく、また奉仕活動の大きな喜びを感じた日でした。

次に11月3日、金目エコミュージアム主催の「収穫祭」に「きらり」の子ども8名と参加しました。再び「相州平塚七夕太鼓」に特設ステージで演奏していただき、飛び入りの子を含め、「きらり」の子ども達には、はっぴを纏って共演していただきました。

「きらり」の子ども達には、「ポリオ撲滅」のためのチャリティスタッフとしても活躍してもらいました。法被（はっぴ）を着て、少し誇らしげに、そして一生懸命に対応する子供達の姿、そして彼らの「笑顔」は、本当に印象的で、私たちの活動の原動力とはこういうものだと感じさせられました。

26,400円のポリオ募金を集めることが出来ました。この事業は、「きらり」子ども達の地域コミュニティへの参加と、職業奉仕ということで職業を実感していただく目標がありました。子ども達に感想を聞いたところ、「楽しかったので、また参加したい。」「次はいつ会えるの?」などと嬉しい反響をいただき、大変良かったと思います。

活動の最中、ある子どもに「ロータリーマーク」について聞かれ、「昔ポールハリスという寂しがり屋のおじさんが4人の仲間と、毎週集まって楽しく話をする場所を作るため、皆の家を順番に回ったので歯車をマークにしました。」と話したところ、その子は目を輝かせて、「カッコいいマークだね。」と言ってくれたのです。私はその子に「君も大きくなったらロータリーに入りなさい。」と思わず言ってしまいました。

笑顔でうなずく子どもを見た瞬間、胸が熱くなるような感覚を覚えました。私たちロータリアンは、ただ奉仕をするだけでなく、こうして未来を担う子供たちから「すごい」と思われ、憧れを持ってもらえるような、そんな背中を見せ続ける団体でなければならない。その責務を、子供たちの純粋な一言によって、改めて強く認識させられました。

そして三つ目は、海を越えた友情の確認です。

11月5日から6日にかけて、櫻田会員そして平山会員とともに、姉妹クラブである桃園ロータリークラブ創立64周年記念式典に出席してまいりました。皆様のご想像通り、現地では「盛大」という言葉では足りないほどの演出、そして熱烈な歓迎を受けました。桃園クラブの皆様が、私たち平塚北ロータリークラブに対していかに「好意的」であり、深い友情を抱いてくださっているか。その一つ一つの振る舞いからひしひしと伝わってまいりまして、改めて深く感動した次第です。

そして、非常に嬉しく、また身の引き締まる思いがしたことがございます。それは、式典や懇親の場でお会いした非常に大勢の方々から、「平塚北ロータリークラブの55周年の式典に、ぜひ参加したい」という熱いお言葉をいただいたことです。私たちの55周年に、桃園から多くの方が駆けつけてくださる。これは、私たちのクラブにとって、これ以上ない喜びであります。同時に、私たちは、彼らが示してくれたこの温かい友情に対し、今度は私たちが彼らの期待を上回るような「心のこもったおもてなし」を考え、準備しなければならないという嬉しい責務を託されたと感じております。

「きらり祭」で得た、子供たちとの創造的な「つながり」。

「収穫祭」で感じた、次世代へ奉仕の心を伝える「未来への責任」。

そして、桃園クラブ訪問で再確認した、国境を越えた「揺るぎない友情」。

これらすべての活動が、皆様お一人おひとりの時間と労力、そして温かいご支援とご協力の「賜物」であることは、言うまでもありません。会長として、皆様のご尽力に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

11月は「ロータリー財団月間」です。今ご報告したような、地域での奉仕も、ポリオ撲滅への貢献も、そして国際的な親善も、うまく計画し、実行すればこのロータリー財団という大きな仕組みによって支えていただくことも出来ます。私も含め皆様には本日の富岡委員長の卓話をしっかりと受け留めていただけることを願っています。

年末に向け、皆様ますますご多忙のことと存じますが、引き続き、クラブ活動への力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。会長挨拶と致します。

(本日)11月11日 (火)				出席免除会員 4名在席	
会員数	出席対象者	出席数	出席率	メイクアップ	修正出席率
26	22	10 (2)	50%	名	%



ロータリー財団月間卓話＝富岡 弘文 委員長



財団資金推進・ポリオ委員会 (大和 RC)

幹 事 報 告

11月25日の例会は、ガバナー補佐訪問となっておりますので、ご参加よろしく願いいたします。
また、ガバナー公式訪問は12月9日になります。奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

スマイルBOX

◎富岡 弘文さん（大和 RC）

＝本日は、わかりやすいお話が出来ればと願っています。よろしくお願いいたします。

◎山田 裕さん＝本日は富岡委員長、よろしくお願いいたします。桃園クラブ 64 周年式典参加の訪問では、最高のおもてなしを受け、たんまりと台湾ビールをいただきました。帰国時の空港出発ロビーでは、ただ一人放心状態で案内を待ち滑走路迄のバスの車内にて好青年からリュックが開いてますよと声をかけられ我に帰りました。無事に帰れてよかったです。

◎神保由樹さん＝本日は大和 RC 財団資金推進・ポリオ委員会委員長の富岡弘文様、ようこそお越し下さいました。本日の卓話、楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

◎真壁佐一さん・米澤松文さん・荻谷政夫さん・中川博昭さん

＝桃園訪問団、ご苦労様です。櫻田さん、平山三、山田さん、お疲れ様。大和 RC 富岡様、本日の卓話よろしくお願いいたします。

◎林 啓之さん＝山田会長始め台湾桃園訪問の方々、大変ご苦労様でした。お疲れ様でした。

◎根岸君代さん＝富岡委員長ようこそお越しいただきました。本日の卓話楽しみにしております。台湾出席の会長、櫻田さん、平山さんありがとうございました。

◎八日市屋敏雄さん＝桃園訪問お疲れ様でした。秋も深まってインフルが活発しているそうですが、頑張って参りましょう。

◎平山英代さん＝富岡三よろしくお願いいたします。11/5～11/8 まで桃園ロータリー訪問しました。

◎中村 豊さん＝本日の富岡産の卓話をよろしくお願い致します。インフル流行しています。体調にお気をつけ下さい。

11 月 11 日スマイル合計額は、14,000 円でした。